

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

政策名	1 グローバルロジスティクスの港		24年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	港営部 港営課長
基本施策名	01 国際・国内海上輸送機能の強化		事務事業	成果	コスト	連絡先 連携課	052-654-7871
個別施策名	05 港湾のコスト・サービス水準を向上する						
事務事業名	04 完成自動車輸送の支援		継続	拡大	維持	事業 期間	平成23年度～継続
目的	名古屋港における海外生産の完成自動車の取扱い(トランシップ等)の増加を目指します。					根拠 法令等	入港料及び港湾施設使用 料の減免に関する要綱
概要	外航の自動車輸送船の負担を軽減するため、1回の入港で公共岸壁を2回以上使用する際の、港湾施設使用料(係船岸壁使用料)の減免をします。 完成車のトランシップに係る負担を軽減するため、海外生産の完成自動車の取り扱いに係る港湾施設使用料(荷さばき地使用料)の減免をします。					実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
平成25年度の実施予定	要綱に定めている港湾施設使用料(係船岸壁使用料及び荷さばき地使用料)の減免を実施します。					関連 シート	

2 DO(実施)

平成25年度に実施した内容・結果	要綱に定めている港湾施設使用料(係船岸壁使用料及び荷さばき地使用料)の減免を実施しました。							
コスト(年度)	単位	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	25(実績見込み)	合計	備考(款項目節等)
事業費 計	千円			0	0	0	0	(款項目節)
一般会計	千円			0	0	0	0	(算出計算式)
事業会計	千円							(その他)
その他	千円							
人員費 計	千円			862	872	876	2,610	
正規職員	人			0.10	0.10	0.10		
嘱託職員	人			0.00	0.00	0.00		
合計	千円			862	872	876	2,610	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	21	22	23	24	25	中間目標	25	備考(指標の算定方法など)		
インセンティブによる減免額(千円)	目標			44,910	49,000	85,148		85,148			
	実績			46,311	85,148	99,131					
	達成率(単年度%)			103.1	173.8	116.4					
	達成率(累計%)			-	-	-					
インセンティブを利用して取り扱いのあった海外生産の完成自動車の台数(台)	目標			91,660	100,000	152,000		152,000			
	実績			91,051	149,733	158,913					
	達成率(単年度%)			99.3	149.7	104.5					
	達成率(累計%)			-	-	-					
平成25年度までを総括した必要性・有効性・効率性の確認			判断理由 (課題の抽出)					その他特記事項			
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>		新たな物流(海外生産の完成自動車のトランシップ)を名古屋港に定着させるため、積極的な取組が必要です。							
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>									
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>									
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>		インセンティブを利用して取り扱いのあった海外生産の完成自動車の台数は、増加傾向にあります。							
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>									
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>									
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>		厳しい財政状況を踏まえ、必要なインセンティブの実施により、港勢の拡大に一定の効果がありました。							
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>									
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>									

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続	➡	➡	引き続き、新たな物流(海外生産車のトランシップなど)を名古屋港に定着させる積極的な取組みが必要であるため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
船舶の誘致や港湾施設の効率的使用を促進するため、引き続き港湾施設使用料の減免を実施します。				